

公開シンポジウム

コーパス研究を踏まえた新しい日本語教育にむけて —何を活かすか、どう活かすか—

日 時 2014年12月20日(土) 13:00~17:30

場 所 日本女子大学 百年館 207 教室

趣 旨

教科書にも出ており、授業でもとりあげたはずなのに、学習者がいつになっても誤りを繰り返す表現や、うまく使いこなせていない表現がある。これらは、日本語教科書の取り上げ方、教授法等によるものではないか、という問題意識のもとに行った最新のコーパス研究の事例と、その結果見えてきた実態を紹介する。さらに、コーパス研究の成果の教育への還元についても考察し、実際の教え方について具体的な提案を行いたい。

「つもり(だ)」をめぐって
—意志表現の指導の観点から—

高梨 信乃 (神戸大学)

「ようになる」と「てくる」
—学習者の誤用を減らすために—

江田 すみれ (日本女子大学)

コーパス研究を教育現場に活かすための課題
—日本語の受身を例として—

増田 真理子 (東京大学)

学習者に必要な文法項目はなにか
—「はごろも」文法表の用例収集作業から見えてきた項目—

堀 恵子 (東洋大学・筑波大学)

申し込み URL :



【<https://ssl.form-mailer.jp/fms/65566a33325792>】

日本女子大学目白キャンパスへのアクセス

○JR 山手線 目白駅から徒歩約 15 分またはバス約 5 分
【バス】

都営バス(学 05) 日本女子大学行(直行)「日本女子大前」

都営バス(白 61) 新宿駅西口行「日本女子大前」

○東京メトロ副都心線 雑司が谷駅から徒歩約 8 分(3 番出口)

○東京メトロ有楽町線 護国寺駅から徒歩約 10 分(4 番出口)

